

第六期長期・調整計画策定委員会 傍聴者アンケート
第3回実施分（令和4年10月18日開催） 自由記載欄
【傍聴者 会場5名・オンライン22名】

○ 今回の策定委員会で印象に残った、または興味のある議論や課題がありましたら記入してください。

- ・教育長との意見交換の内容
特に「インクルーシブ教育の充実へのアプローチ」
策定委員が言われたように、9/9の総括所見と勧告を踏まえた議論と策定の見直しが必要です。長期計画策定の時も内容が停滞となっていて、その部分を今回の勧告で指摘されていました。
- ・子どもたち（家庭）の経済格差からの学力格差について。
大多数の子どもが通塾していて、それを支える保護者の財力もあってこそその「武蔵野市の小中学生（学校）の学力の高さ」だと認識しています。はっきり言って公教育の力ではない。日ごろの公教育を充実させることによって、学力UPさせることは無理なのでしょうか。
- ・「確かに教員配置はできない」これを壊していこう。
- ・世界とつながる学びの話が面白い。
- ・財政指数1.48 → 未来への投資、どう使っていくか。
- ・教員忙しさの対策。持ち時数減。部活—土日—今切り離すのではなく、やっていく。
- ・学校統廃合—財政面だけで学校の存続考えていくべきでない。
- ・非常に興味深く、また、議事の1つ1つがそれだけで1つの委員会になるような中身だったと思います。傍聴しながらついていくのが精一杯でした。
- ・教育長との意見交換では、ヤングケアラーや経済的支援策（就学援助、給食等）、少人数学級についても、教育長から話が出てほしい気がしました。
- ・財政状況と人口推計について。
- ・(2)武蔵野市の財政状況について、(3)武蔵野市の将来人口推計について、(4)調整計画策定に向けた基礎資料及び市民意見等について。
- ・策定委員のご発言にあった「稼ぐ武蔵野」という言葉が印象に残っています。現在あるストックをど

のように利活用するか、またそのストックの維持管理、更新の費用をどこから賄うのかといった視点で考えると、限られた資源で市政運営を継続していくにあたっては公共空間、公共施設で「稼ぐ」仕組みづくりも必須と思います。

- ・将来人口推計：委員の言っている人口が増えることが武蔵野市としては良いことではないことについては、しっかりと発信すべき。

○ その他、ご意見・ご感想などありましたら記入してください。

- ・会場でのアンケート用紙に記入するのがバタバタするので、QRなどで読み取りネットで記入できると、ゆっくりアンケート記入できるので取り入れてほしいです。
- ・むさしの未来ワークショップの傍聴をしましたが、本当に子どもたちの意見が面白かったです。六長調策定委員のみなさまと中高生が直接意見交換できる機会があれば見てみたいです。
- ・施策評価シートについて。子どもプラン等でも事業評価が作成されますが、ちょっと行政側の評価が甘いんじゃない？と思うことも多々あります。市民（カウンター側）視点の評価があってもいいのではと思います。（が、冷静な分析ではない“ノイズ”評価が多そうなので、あまり現実的ではないですね…。）
- ・事務局の説明がすごくわかりやすい。
- ・5～15才の人口増は保護者との転入なのに、親世代が増えていない。ということはどういうこと？
- ・市民会議のメンバーは傍聴に来てくれますか？（オンライン参加者が見れないのでメール等で声掛けしてはいかがでしょうか。）
- ・財政—環境への投資や学校—財政面だけで減、小さくなど考えるのではなく、人的投資も含めて大事だと思う。
- ・武蔵野市の財政状況、将来人口推計はとても勉強になりました。
- ・第六期長期計画以降、市講師、部活動指導員など、かなり進んだ面についてはとても感謝しています。一方、学校改築をもっと考えていく必要性を強く感じました。
- ・「新たな行政評価制度」の言葉、アピールできるネーミング、良いネーミングがつくと良いなとも思います。
- ・少人数の会議であれば、ZOOMで大きな課題はないと思います。

ただ、策定委員会のような会場全体を映しながら、議論の音を拾い、安定して中継するとなると、ZOOM および市役所庁内の貸出備品、通信環境に限界があるのではないのでしょうか。

自分の所属する課でも委員会を開催していますが、職員の経験不足、準備や運営にかかる労力から、正直、オンライン配信は避けたいと実感しています。

オンライン配信自体は、今後もやっていくべきと考えています。

- ・今回の方法は、議論の透明性を見地からも今後より一般的になってくるものと考えています。ぜひ広く利用できるようにしていただけたらと考えております。

(※文字及び文章はできる限りアンケートに記入されていた原文のまま記載しています。)